

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスAo		
○保護者評価実施期間	R6年7月1日		～ R6年7月13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	21名	(回答者数) 17名
○従業者評価実施期間	R6年7月1日		～ R6年7月13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数) 5名
○事業者向け自己評価表作成日	R6年8月30日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムが固定化しない様、専門療育に加え、専門療育以外の時間には、様々な体験が出来るように、個別に、又集団で必要な体験活動を、日々行っている。	1人ひとりに必要な専門療育を、1週間の中で計画的に組み立て、その時間以外では、個別や小集団での活動をとりいれ、利用している時間を充実して過ごせるようにしている。	個別の支援計画に加え、特別支援についても個別に細かく計画を立て、集団の療育の中で楽しみながら療育受けられる様に提供していく。
2	定期的に会報やホームページ等で活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているかについては、SNSでの発信を月2回以上、ご家庭へ日々の活動の様子をライン配信していること。	定期的にInstagram投稿、許可されたご家庭への活動の内容、写真の配信を定期的に行い、療育への理解を頂いている。	引き続きSNSへの投稿を続け、療育への理解を深めて頂くと共に、行事の案内などもAo便りを通して行っていく。
3	事業所の支援に満足しているかについては、専門療育に加え体験活動を取り入れ、利用児が楽しめる療育活動を提供している。	日々の一人一人に必要な言語療法・音楽療法・理学療法・作業療法の専門療育に加え、毎日の個々に必要なスキルと小集団での様々な体験活動を提供している。	引き続き、専門療育の充実と様々な体験活動の提供を行いつつ、個々の必要なスキルを見極め、それぞれがステップアップできる様、繋がった支援を行っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会活動、父母の会、保護者同士の連携の支援がされていないこと。	保護者同士の連携が持てる場所や機会がない。	保護者同士の連携を希望される方が多ければ、その様な場を定期的に設け、保護者同士の交流が持てるようにしていく。
2	緊急時マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているかについて、なかなか保護者に伝わっていなかったこと。	事業所内で緊急時マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定してるものの、保護者へしっかり伝わってなかった	契約時にしっかり伝えると共に、状況や機会を見ながらその都度、分かりやすく公表していく。
3	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか。	児童クラブとAoとの併用の児童もいる。 法人内の保育園児との交流は行っていく。	来年度は、法人内の保育園児との交流を行っていく予定である。機会があれば児童クラブとの交流も計画していく。